



「^{どりよく}努力の^{つぼ}壺」^{はなし}の話

人が何かを始めようとか、今までにできなかったことをやろうと決心すると、^{かみさま}神様が「^{どりよく}努力の^{つぼ}壺」
をくれるそうです。ここで小学校1年生の作文を紹介します。

ど力のつぼ 1年 角野 愛



「お母さん、ど力のつぼのはなし、またして。」

「ウンいいよ。こんどはなあに。」

「さかあがり」

「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶん大きいね。」と、いいながら、お母さんは、いすをひいて、わたしの前にすわりました。そして、もうなん回もしてくれた、「ど力のつぼ」のはなしをまた、ゆっくりとはじめました。それはこんなおはなしです。

人がなにかをはじめようとか、いままでできなかったことをやろうと思ったとき、かみさまから「ど力のつぼ」をもらいます。そのつぼには、いろいろな大きさがあって、人によって、ときには大きいやら、小さいやらいろいろあります。そしてそのつぼは、その人には見えないのです。でも、その人がつぼの中に、いっしょうけんめい「ど力」を入れていくと、それがすこしずつたまって、いつか「ど力」があふれるとき、つぼの大きさがわかる、というのです。だからやすまずつぼの中にど力を入れていけば、いつか、かならずできるときがくるのです。

わたしは、このはなしが大すきです。ようちえんのときはじめてお母さんからききました。そのときは、「よこぼしご」のれんしゅうをしているときでした。それから、「一りん車」「てつぼうのまえまわり」「とびばこ」「竹うま」。なんでもがんばってやっているとき、お母さんにたのんで、このはなしをしてもらいます。くじけそうになるときでも、このはなしをきいていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして、わたしの「ど力」がもうすこしであふれそうに見えるのです。だから、またがんばる気もちになれます。

お母さんのいうとおり、この「さかあがり」のつぼは、ずいぶん大きいみたいです。「さかあがり」をはじめてから、もう二回もこのはなしをしてもらいました。でも、こんどこそ、あとすこしで、あふれそうな気がします。だから、あしたからまたがんばろうと思います。

お母さんは、「つぼが大きいとたいへんだけれど、中みがいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」と、いつてくれるけれど、こんど、かみさまからもらうときには、もうすこし小さなつぼがいいなあと思います。(出典：朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選 明治図書)

「^{どりよく}努力の^{つぼ}壺」は、どれくらいみずの水がたまっているのかを見たくても見ることはできません。^{とちゆう}途中で「自分には向いていない」「^{じぶん}どんなに^む頑張っても^{しんぽ}進歩がない」「無駄なことはやめてしまおう」と自分自身の^{じしん}努力に^{どりよく}疑問を^{ぎもん}持つようになります。そして、^{つぼ}壺の中に^{どりよく}努力を入れるのをやめてしまうことがあります。しかし、そのような時には、もうすでに^{たっせい}達成する^{もくひよう}目標の80パーセント近くまできていることが多いのです。ここが^{がんば}つらいところですが、もう少し^{つぼ}頑張ると、^{ちか}壺が一杯になりあふれてくるのです。

もうすぐ^{うんどうかい}運動会です。運動会に向けて^{ぜんこうせい}全校生みんな^{がんば}頑張っています。学^{がくしゆう}習やス^{おんがくかんけい}ポーツや音楽関係のコンクールに出^{しゅつじよう}場するために^{かみさま}努力をしている人もいます。神様がくれた「^{どりよく}努力の^{つぼ}壺」に^{どりよく}努力をいっぱい^{つめこ}詰め込んで、^{つぼ}壺からあふれ出す日を楽しみにしたいものです。須二小生みんな^{どりよく}で「^{つぼ}努力の^{つぼ}壺」をいっぱい^{きたい}にしてくれることを期待しています。



【13日（月）1年生の初めての給食】

「給食はレストランとは違うよ。自分たちで準備したり、片付けたりするんだよ。」この言葉通り、給食をいただくまでには、当番さんだけではなくみんなでたくさんの仕事があります。初めての給食の準備の時間では、一つ一つの説明をよく聞いて、やり方や自分の役割を覚えていました。
※「一学年だより」より抜粋。

学校給食のねらいの一つに、準備や後片付けなどの共同作業を通して責任感や連帯感を養うことと、学校給食に携わる人たちへの感謝の気持ちを育み好ましい人間関係を育てるといったことがあります。給食指導を通してねらいが達成できるようにしていきたいと考えています。

【16日（木）たてわり清掃開始】

家庭や学校における仕事の分担など、子ども自身が担う役割を各自が責任を持って行うことにより、家族や集団の役に立つ喜びや満足感につながります。とりわけ、学校生活の中では、社会性や協調性、社会生活上のきまりや基本的モラルなど、より幅広い道徳的価値を身につけさせていくようにしています。

本校では、清掃活動に積極的に取り組ませることにより、子どもたちに社会の一員としての大切な力を身につけさせたいと考えています。

児童会全体集会 運営委員長あいさつ

6年 山崎 琴美

児童会は、学校をより良くするための大切な会です。今日の児童会全体集会は、5・6年生が中心となって計画を話し合う場となります。みなさんが積極的に意見を出し合えば充実した会となります。学校をより良くするために、協力してもらえるような案を出していき、それを実行できるようにしていきましょう。また、各委員会が決めた「めあて」「活動計画」を守れるように一人一人率先して活動していきましょう。 23日（木）難

あいさつをする山崎琴美さん



本校では、子どもたちの様子をホームページで随時紹介しています。是非ご覧ください。スマホからもご覧になれます。（須賀川市教育委員会の学校のホームページ一覧より 須賀川二小）

平成27年度 第二小学校 PTA・音体三役・監査役員決定

4月17日（金）父母と教師の会・音楽体育後援会総会において、今年度の役員が決定しました。役員の皆様には、今年一年お世話になります。宜しくお願いいたします。

敬称略

役職名	父母と教師の会	音楽体育後援会
会長	菊地 大介	堺 史浩
副会長	藤田 元	深谷ひろみ
	赤井田仁子	根本 誠司
庶務	米倉 攻	小野 忍
会計	熊田 ゆき	松井 美香
会計監査	山本美幾子	佐藤 裕文

〔PTA・音体後援会総会〕



※ 最後に菊地大介PTA会長より、多年にわたり本校教育活動にご尽力いただいた平成26年度をもって退任される以下5名の方々に感謝状が贈られました。

須田智博前PTA会長、佐藤由起子前PTA副会長、水野寛幸前音体会長、菊地静子前音体副会長、麻生能孝前校長